

2024年12月吉日

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

ネイチャーポジティブの実現にビジネスから貢献
「いきもの共生事業所^{®※1}」認証制度を活用した
「(仮称)生物多様性ネットゲイン認証」の開発に着手

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(通称:ABINC:エイビンク)が運営する「いきもの共生事業所[®]認証制度」では、このたび、不動産開発や事業用地の整備などの土地開発における生物多様性の損失(ネットロス)を回避する取り組みをネットゲインの観点で評価を行うワーキンググループを発足しました。2014年から拡大を続ける「いきもの共生事業所[®]」認証制度を活用した、「(仮称)生物多様性ネットゲイン認証」の検討を進めてまいります。

生物多様性の損失が地球規模で急速に進行する中、2022年に採択された「昆明・モントリオール生物多様性枠組」にて、生物多様性の損失を止め反転させ、自然を回復軌道に乗せるいわゆる「ネイチャーポジティブ」が2030年までの方向性ミッションとして掲げされました。また、日本でも「生物多様性国家戦略2023-2030」にてネイチャーポジティブ実現に向けた取り組みの必要性が示され、企業や自治体にも持続可能な開発と自然の保全を両立させるための取り組みが求められています。

イギリスやシンガポール等で生物多様性ネットゲイン／オフセットの考え方方が進む中、本協議会においても、企業や自治体が行う土地開発を行った際の生物多様性の損失を補うだけでなく、積極的に生態系の価値を向上させる「ネットゲイン」の考え方のもと、これまでのABINC認証を補完する新たな認証制度の検討を開始しています。これにより、日本の土地開発におけるネイチャーポジティブに関して、定量的な評価が出来ることを目指しています。

本ワーキンググループでは今後、認証基準の策定、トライアルサイトでの評価検討、有識者での検討会などを通じ、実効性のある認証制度の確立を目指してまいります。

なお、今回設置する有識者委員会のメンバー並びにワーキンググループに参画する会員企業は以下の通りです。また、現在ABINCでは本ワーキンググループへご協力いただける以下の2タイプの事業者を募集しております。詳細やお問合せについては本リリース末尾記載の事務局宛にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

①基準案・制度化の検討を行う「ワーキンググループメンバー」

②基準案検討・策定に向けたトライアル審査を行うサイトとして「トライアルにご協力いただける事業者」
※従来森林などいわゆるグリーンフィールド¹であった土地を改変し開発を行ったサイト、またそれらの開発地の代償地として、開発地と近しい生態系があり、生物多様性保全に貢献し得るサイト(企業緑地・企業林)の両方もしくはどちらかを所有もしくは当該地の所有者から管理権を委任されている事業者。

¹ グリーンフィールドとは未開発の土地を指し、通常自然の状態にあり、人間の活動によって大きな影響を受けていない森林、草地、農地などが含まれる。それに対し、ブラウンフィールドとは以前に開発が行われていたが現在は使われていない土地を指す。

有識者委員会

森本 幸裕
(ABINC 会長／京都大学名誉教授)

中静 透
(森林研究・整備機構 理事長)

西廣 淳
(気候変動適応センター 副センター長)

足立 直樹
(ABINC 理事／JBIB 理事・事務局長)

横田 樹広
(東京都市大学 環境学部 教授)

ワーキンググループ参画企業(五十音順)

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
MS&AD インターリスク総研株式会社(事務局)
株式会社グリーン・ワイズ
清水建設株式会社
大日本ダイヤコンサルタント株式会社
大和ハウス工業株式会社
株式会社竹中工務店
株式会社地域環境計画
東急不動産株式会社
株式会社日本設計
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社日比谷アメニス
株式会社プレック研究所
株式会社ポリテック・エイディディ
株式会社三菱地所設計

※1 いきもの共生事業所[®]はJBIBの登録商標です。

※2 ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会・ABINC(エイビンク)とは】

当法人は2013年に設立し、今日では生物多様性条約締約国会議(COP15)において採択された昆明・モントリオール生物多様性枠組および生物多様性戦略計画で掲げられた、「2030年ネイチャーポジティブ」を、ビジネスを通じて実現するために活動しています。主な事業としては、生物多様性に配慮した企業緑地を認証するいきもの共生事業所認証・ABINC(エイビンク)を運営し、認証は施設のタイプにより①工場版 ②都市再開発・SC(ショッピングセンター)版 ③集合住宅版 ④戸建住宅団地版 ⑤物流施設版⑥ゴルフ場版 ⑥企業林版 ⑦ABINC ADVANCE版(街区レベルの大規模施設を評価)と7種類を備えており、168件の認証サイトがあります(2024年11月現在)。その他、いきもの共生事業推進ガイドラインや認証制度に関する講習会の実施、ABINC賞表彰式などを随時開催しています。会員による部会やワーキング活動が活発に行われ、認証制度の見直しや開発、会員や認証サイト事業者とのコミュニケーションや、企業緑地や認証に関する調査研究などが行われています。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)は、生物多様性の保全と持続可能な開発の両立を目指し、引き続き取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【団体概要】

■名称:一般社団法人いきもの共生事業推進協議会

[英文名:Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community
=略称ABINC(エイビンク)]

■設立:2013年12月25日 ■連絡先:info@abinc.or.jp ■ホームページ:<http://www.abinc.or.jp/>

■理事: 森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>

原口 真 (MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部 TNFD専任SVP) <副会長>

足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)

小松 裕幸 (清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部主席マネージャー)

高塚 敏 (株式会社地域環境計画 代表取締役)

長澤 基一 (株式会社日本設計 ランドスケープ設計グループ長)

村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)

■監事: 梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 顧問)

渡邊 哲朗 (税理士法人渡辺総研)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長:安斎 健雄 担当:渡辺・柴田

※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社

e-mail : abinc@catcorp.jp